

■インターハイ・全国大会出場選手

【自転車競技部】

F3-2 山口 智礼
F3-3 青木進之佑

【卓球部（男子）】

E3-1 藤原 健太
E3-1 近藤 禄史
P3-1 山崎 直徒
J3-1 榎並 恭平

【水泳部（女子）】

L2-3 徐 怜巳

【パワーリフティング部】

E2-1 岡部 英明
L2-1 宍戸 映美
L2-2 矢倉 翠

【ボクシング部】

E2-1 工藤 裕輝
E1-1 会沢 卓也

【バレーボール部（男子）】

F2-1 小川 純司

【ゴルフ部】

C2-3 大関 雅章

【少林寺拳法部】

C2-2 稲毛 菜月

C2-3 山田 京平

J2-1 小川 翔平

【ゲートボール部】

M3-2 菅谷 暢高



■ 大学・短大・専門学校

— 合格までの道のり —

受験の形態が、「推薦」「AO」「自己推薦」などが大半を占めている情報科学部。そのため、1 学年から文章構成力や豊かな文章表現力を身につけておくことが肝要となってきました。それと同時に、対話の技術（コミュニケーション能力）に関しても常に積極的であってほしいのです。

高校入試のときに、学習内容が難解なものや決めつけ、目をそらしてしまったことで、取りこぼしてしまったもの。更には今、その土台の上に積み重ねるために、基礎の部分からぐらついていると感じている生徒がいるのではないのでしょうか。

この夏休みに基礎の基礎から徹底的にやり直してみませんか！“今からではもう遅い”ということはありません。土台の基礎学力の強化こそが、進学への道を引き寄せるのです。自分の弱点に真っ向から立ち向かう姿勢こそが、「合格への秘訣」といえるのでしょうか。

進学指導委員長 中原 康喜

■就職試験

— 内定への秘訣 —

7 月 1 日から求人受付が開始され、平成 23 年度の就職活動がスタートしました。5 月にガイダンス（警察・自衛隊・一般企業人事担当者）を行い、6 月にはハローワーク高卒ジョブカフェによる講話を実施しました。また、夏休みに「面接の受け方」の講話を実施します。その後校内選考、会社見学、就職補講、統一書類提出などを済ませ 9 月 16 日から就職試験が始まります。

今年は、リーマンショックの影響と 3 月の未曾有の大震災でのダメージ、また、電力不足による節電対策の影響などで各企業とも厳しい状況になっています。5 月末に行った企業訪問(県内 90 社)でも、厳しい状況である話を聞きましたが、一部企業では採用を積極的に行う部分も見え、昨年並みの就職活動はできると思います。

企業が求める人材は、基礎学力、コミュニケーション能力が身につけていることはもちろんのこと、人物面を重視し、あいさつのできるもの、ルールを守りすばやく行動できるものを求めています。作新学院で培った知力、体力、気力で就職試験にチャレンジしてください。

就職指導委員長 大房 義弘



■クラス立案の校外学習

私たちは 6 月 23 日(木)に東京三鷹の森ジブリ美術館へ行ってきました。ニンマリ微笑むトトロに出迎えられて館内に入ってみると、そこには歴代のジブリ作品が溢れていました。いろいろな展示物もあり、夢中になって見て回りました。特に面白かったのが、アニメーションの原理（原始的なアニメ）に関する展示物です。これは人間の目の錯覚によって人形が動いているように見え、また、角度が変わるとそれが変化するなど、見ている私は不思議な気持ちでいっぱいになりました。空中庭園に寂しく佇むロボット兵も強く印象に残りました。



震災の影響から遠足は実施されませんでした。クラス単位で行える校外学習を通して、仲間との交流をなお一層深めることができ、有意義な一日を過ごすことができました。

普通科総合選択コース 2 年 3 組
油井 崇充

■クラス立案の校外学習



6 月 1 日、私たちは、『世界一の電気街の秋葉原』と『皇居』に校外学習に行ってきました。

秋葉原では、多種多様な電子部品、測定機器、ジャンクパーツそして大量の電化製品が売られていました。品物や部品の多さに本当にびっくりしました。電気、電子への興味も更に深まりました。

電気街を歩きながら、このような電気街ができたのは、周りの大学との関わりが大きいのではないかと思います。また、日本が世界に誇るコンテンツの一つであるアニメやゲームも見ることができました。

皇居では、広い敷地をガイドさんの案内で宮内庁や一般参賀をする場所などを見学しました。皇居に入るのは全員初めてで、皆とても興味深く、貴重な体験ができました。とても楽しく、勉強になりました。

電子システム科 3 年 1 組 豊岡 俊介

■避難訓練を実施しました！

毎年実施してきた避難訓練の成果により 3 月 11 日に発生した東日本大震災のときも冷静沈着な行動により、けが人が一人も出ず全員無事避難することができました。今年度、6 月 28 日（火）に実施した避難訓練では情報科学部の生徒は移動教室が多いにもかかわらず、僅か 10 分でグラウンドに集合・整列することができました。終了後の講評では、宇都宮西消防署の係長様から「高等学校生徒約 4,000 人が落ち着いて、かつ迅速に行動ができました」と、お褒めの言葉を頂きました。家庭におかれましても日ごろから家族と避難場所や連絡方法など話し合っただけ



れば、緊急時の災害に備えることができると思います。“備えあれば憂いなしです”。

防火係担当責任者
渡辺 進

■部活動紹介（工業技術部）

我ら工業技術部は、今年度より 1967 年製ワーゲンバスのレストアを始めました。44 年も前に製造されたもので、さらに 37 年間も納屋に眠っていた車です。錆もひどく、ボディや床には穴があき、タイヤも回らず、内装など何にもありませんでした。まさに土に帰ろうとしていた状態です。エンジンも車体から降ろし、部品を 1 つ 1 つ外しては、少しずつ修復しています。今の車とは比べ物にならないくらいシンプルな構造ですが、現在のようなコンピュータで制御されるものではなく、その時代なりの技術と快適さを求めた人間らしい工夫がたくさん詰まっており、中身に触れるたびに感動と驚きの連続です。生徒たちにとっては、自分たちが生まれるずっと前の技術に触れ、またその時代背景などにも興味を持ち、自動車の進化を肌で感じながら、とてもいい経験となっているようです。温故知新という言葉があるように、この経験が卒業後に少しでも役立てばと考えています。何年かかるかわかりませんが、立派に走り出す姿を思い描きながら、レストアを生徒と成し遂げたいと、毎日みんな汗を流しています。

自動車整備士養成科 主任 木村 健二



保健体育科 教諭 宮崎 康洋